



# 園長だより

No. 31 R6. 12. 16 (Mon)

先々週から、志都呂幼稚園では、「マラソンがんばろう週間」がスタートしました。当初は、走る事に抵抗があった子も実はチラホラ居たみたいなんです。各クラスごとの先生が、「走ると体も心も強くなって、風邪バイキンも逃げていく様になるんだよ」と、自身共にの利点を分かりやすく伝えると…。しかりじっくり理解してくれ、子ども達の表情がみるみるうちに変わっていったそうなんです。そしてスタート地点に、どの子も意気揚々と立ち、腕まくりなんかも自分からしちゃって、走る気満々なんです。途中つまづいてしまう子もいて大泣きしても、周りの子や先生の励ましに助けられて、再び泣きながらも走ることが出来たり、自分で立ち上り、口をへの字にきゅと結んで、膝の砂を払い「ふんっ」と自身で気合を入れて走り出す子も！ 確実に子ども達は、挫折や困難に対して、自分自身で一步踏み出す力、生きる力を育んでいる事を実感します。



そして学年ごとに走るんですが、他の学年の子が走っている子達を「頑張れ〜」と熱い声援を送ってくれるんです。この他者からの声掛けに力を貰い、また張り切る事が出来るんですね〜！

園庭のトラックを走るの、順位もある訳ではないので、今日はこんなペースで走ろうかとか、自身でペースや目標も決められるのもいいかな〜と思います。

小学校に就学していく道においては、どうしても数字・順位の優劣に左右されがちです。志都呂幼稚園で毎日力強く走る子ども達の弾む笑顔を見て、どの子のどんな姿も認められ、励まされ、それを自信にしてあげたいと、強く思います。

PS. 因みに、私も走っているんですが、常にマイペースで走る私を「園長先生を抜いた〜」と、いかにも嬉しそうに抜いていく子ども達が、かゆいくて。そして、走り切った後が、とにかく爽快で！ 子ども達とそんな感覚を共有出来る事に日々感謝です！！

